（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和６年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「暮らしをつくる」を楽しむ日常の価値創出拠点整備・運営事業
事業主体 （連絡先）	一般社団法人生活民芸舎 090-6039-6745（代表・佐藤あゆ）
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業(その他)
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,011,424 円（うち支援金：2,295,000 円）

事 業 内 容

木曽地域での暮らしを楽しむ産業振興・移住促進拠点をつくるものです。山に囲まれた美しい地域という信州の文化的背景から考え、現代の生活者や移住希望者と「暮らしをつくる」楽しみを見出すデイリーツーリズム事業を展開するとともに、それを実現するハード整備を行います。日常の魅力から信州を捉え直すことで、新たな価値創出を図ります。

1.拠点整備事業
　A シェアキッチン、トイレ、シャワー設置
　B DIY 工事：宿泊室
2.シェア工房＋宿泊室運営
3.信州デイリーツーリズム事業

【本事業を機に発足した醤油づくりサークルの様子】

事 業 効 果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①シェア工房を利用する 14 名の契約者を獲得できた。（目標 5 名）
②醤油づくりサークル、金継ぎ講座などが本事業を機に発足し、合計 7 名のリピーターも獲得できた。
③暮らしをつくるワークショップでは県外からの利用者があり、キッチン、トイレ、シャワーの整備により滞在時間を伸ばすことができた。(前年比 233%)
④シェア工房利用者らによる土-とおいち内ミニギャラリーでの展示販売の企画が行われた。(2025/3/14 から開催。その後一部作品を常設展示販売)

【目標・ねらい】

① ものづくりを行う作家の増加
② 「信州デイリーツーリズム」リピーターの増加
③ 遠方来訪者、利用者滞在時間増加
④ 土-とおいちとの連携

※自己評価【A】

【理由】
・産業振興・移住促進拠点の整備が進捗し、年間を通したワークショップが開催された。
・昨年に続きリピート開催された企画や、リピーターを得られた。

今後の取り組み

産業振興・移住促進拠点は、元気づくり支援金を活用することで「集まる」「何度も・長く滞在する」場所として機能しました。今後は、「日常的に利用する」場所としての整備を行い、ワークスペースを整備し、居場所となるチャレンジキッチンを設けます。
また、ソフト事業でも、年間を通して地域を訪れるプログラムを実施することで関係人口を増やし、それら人材と地域との結びつきを強化します。また、この施設をきっかけに移住を考える人を増やすため、移住定住相談会＆まち歩きツアーを開催します。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある